

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」松山大会報告書

- 開催日時 2022年10月29日（土）～10月30日（日）の2日間両日とも9:30～16:50開催
- 会場 松山市総合コミュニティセンターこども館（〒790-0012 住所松山市湊町7丁目5番地）
- 主催 青少年のための科学の祭典松山大会実行委員会
公益財団法人日本科学技術振興財団
- 後援 文部科学省/愛媛県教育委員会/愛媛県市町教育委員会連合会/松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化スポーツ振興財団/愛媛県PTA連合会/愛媛県高等学校PTA連合会
愛媛県教育研究協議会/愛媛県高等学校教育研究会/全国科学館連携協議会/全国科学博物館協
議会/NHK/日本物理学会/一般社団法人日本生物教育学会/日本地学教育学会/日本基礎化学教
育学会/一般社団法人日本科学教育学会/一般社団法人日本理科教育学会/一般社団法人日本地
質学会/一般社団法人日本生物物理学会/一般社団法人日本物理学会/公益社団法人応用物理学
会/公益社団法人日本化学会/一般社団法人日本機械学会/公益社団法人日本アイソトープ協会
一般社団法人日本私学教育研究所/公益社団法人日本植物学会/公益社団法人日本動物学会
公益社団法人日本天文学会/公益社団法人日本工学会/一般社団法人電気学会
日本エネルギー環境教育学会
- 協賛・協力 四国電力（株）/（株）伊予銀行/（株）愛媛銀行/愛媛信用金庫/井関農機（株）
PHC株式会社/愛媛県学校生活協同組合連合会/松山市教育用品（有）/（株）愛媛新聞社
四国ガス（株）/米山工業（株）/コスモ松山石油（株）/大和教材（株）
（株）シマダジムキ/（株）松山堂書店/富士教材（有）/盛重図書教材（有）
- 来場者数
10月29日 537 人
10月30日 468 人
- 実施内容
従来の松山大会では、2日間で4,000人～5,000人の参加者がいたが、今大会では会場に入場者
数制限が設けられていたため、上記のような入場者数であった。独自に行ったアンケートをみ
ると、参加した子どもは十分に楽しんだと思われる。
- 出展数 21出展
- 出展タイトル一覧
- A サイエンスショー
 - 1 超低温の世界
 - 2 手回し発電器で電気を作ろう
 - 3 パズルの世界
 - 4 にせもの錬金術師をやっつけろ
 - B いろいろな実験工作
 - 5 カラフルイクラ
 - 6 岩石標本を作ろう
 - 7 七人の曲芸師
 - 8 化石のレプリカを作ろう
 - 9 消化のふしぎ

- 10 ペットボトル空気砲を作ろう
- 11 カラフル落ち葉を作ろう
- 12 タネのずかんを作ろう
- 13 近くを見る目、遠くを見る目
- 14 分光万華鏡を作ろう

C 科学工作教室

- 15 虹色ホログラム万華鏡
- 16 雨降り検知器を作ろう

D 中学生・高校生のためのサイエンス

- 17 オリジナルミクログラフィア
- 18 熱電変換を体験しよう
- 19 魔法と化学の世界へようこそ
- 20 細胞の大きさを測ってみよう

E 宇宙教室

- 21 コズミックカレッジ

■ 製作物

- ・ポスター : A3版 / 5色 / 製作部数 : 200枚
- ・チラシ : A4版 / 表紙5色、裏モノクロ / 製作部数 : 40,000枚 ← 小学生向け
- ・チラシ : A4版 / 表・裏ともモノクロ / 製作部数 : 10,000枚 ← 中・高生向け

■ 広報活動

製作物（チラシ）は、協力団体により募集地域の小学校には生徒数分、中学校・高等学校に50枚～200枚配布した。また、ポスターは、各学校1～2枚配布した。また、後援団体（愛媛県教育委員会など）にも配布した。

- ・新聞：愛媛新聞（11月3日朝刊）
- ・テレビ：NHK テレビ「タイトル “ひめポン”」（10月29日；18:45～）
- ・その他：（会場に懸垂幕を設置）